

## 第2学年 生活科学習活動案

児童	1組 男12名 女11名 計23名
	2組 男11名 女9名 計20名
指導者	1組 横橋 円 2組 赤羽根 明子

1 単元名 みんなでつくろう フェスティバル 「わく Waku ファイヤーキッズ祭り」

2 単元について

(1) 単元設定の理由

本単元は、学習指導要領内容(3)「自分たちの生活は地域の人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみをもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」と(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることや気づき、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」、(6)「身の回りの自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして遊びを工夫し、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」を受けて設定したものである。

子どもたちは、これまで学区内の自然の様子を見たり、駅前商店街や二戸駅の様子について調べたりする活動を行ってきた。これらの活動をとおして、季節のうつりかわりを感じとったり、地域の人々と触れ合う喜びを感じたりしてきた。また、地域のイベントに参加した友達の話から、自分たちのお祭りを作り上げていく過程で、どのようなお祭りにしたいのか自分の思いや願いをもち、主体的に活動したり、創意工夫したりする態度、友達との協力や思いやりが育ち、さらに異学年や友達との交流を楽しんだりすることで、今後の自分たちの生活をよりよいものにできると考える。

(2) 子どもの様子

子どもたちは、1学期に行った1年生との合同単元「石切所小学校を紹介しよう」で、昨年自分たちが教えてもらったように特別教室を紹介したポスターの準備や学校探検ツアーとして校内を案内する活動に取り組んできた。そして、運動会や校内スポーツ大会など、学校行事をとおして1年生と一緒に活動することの楽しさに気付くとともに、いろいろなことをもっと教えてあげようという姿がみられた。

また、子どもたちは地域のイベントに参加した友達の話や昨年招待してもらった「にこどんまつり」で楽しかったことなどを思い出しながら、1年生にも自分たちのお祭りで楽しませてあげたいという思いや願いをもっている。しかし、一つのことに向けて自分の思いや願いを友達に伝え、協力して知恵を働かせて、めあてを実現させるための企画や準備を主体的に活動することができない場面もみられた。

(3) 指導にあたって

活動を進めるにあたって、子どもたちに自分たちで行うお祭りに向けてのアンケートをとった。このアンケートから、教師は子どもたちの思いや願いを知り、子どもたち自身も「協力してやる(チームワークを大切に)」、「笑顔で元気にやる」、「やり方を優しく教えてあげる」、「声をかけ合いながら、自分たちが楽しかった時よりももっと楽しくなるようにする」など、お祭りに対する思いや願いに気づき、お祭りを楽しいものになるようにしていくための計画を立てる必要性を感じている。そして、準備において子どもたちが、出店や会場作り、招待状の作成などの対象を意識しながら製作活動にあたり、友達と教え合ったり、製作を工夫したりしながら、自分たちのお祭りに対する思いや願いを表わすことができるようにしていきたい。これら

の活動をとおして、子どもたちが思いや願いをもち、友達とのかかわりを大切に、「自分たちの手で作る」「楽しくなるかどうかは自分たちの手に委ねられている」という意識を育てていきたい。

自分がやりたい出店の準備を同じ思いをもった友達とグループで行い、活動の中で製作へ対する思いや願い、製作方法の工夫といった友達によさに気づき、広がりのある活動ができるようにするために、学級の枠を外して2クラスで行う。教師は、一人一人の子どもの思いや願いが実感を伴って得られた気づきとなるように、T・Tでの学習活動で指導・支援の充実を図り進めていく。

### 3 単元目標

#### (1) 生活への関心・意欲・態度

これまでに見聞きしたり参加したりした行事に関心をもち、自分たちでもフェスティバルをやりたいという思いをもって、進んで企画や実行をするとともに、これまでにお世話になった人や一年生を招待し、楽しんでもらい、かかわりをさらに深めようとしている。

#### (2) 活動や体験についての思考・表現

招待した人に楽しんでもらうために、楽しく遊べる遊びやおもちゃを作ったり、歌や劇を作ったりするなどして、工夫してフェスティバルを作り上げることができる。

#### (3) 身近な環境や自分についての気づき

友だちと力を合わせることの大切さと楽しさ、お世話になった人々とのかかわる楽しさに気付くことができる。

### 4 活動計画(計15時間)

第1次	「わく Waku ファイヤーキッズ祭り」の計画を立てよう	3時間
	お祭りって何だろう	(1)
	どんなお祭りにしようかな	(2)
第2次	「わく Waku ファイヤーキッズ祭り」の準備をしよう	9時間
	「わく Waku ファイヤーキッズ祭り」の計画を立てよう	(2)
	出し物を作ろう	(4;本時 1/4)
	お祭りの練習をしよう	(3)
第3次	「わく Waku ファイヤーキッズ祭り」を楽しもう	3時間
	「わく Waku ファイヤーキッズ祭り」をしよう	(2)
	「わく Waku ファイヤーキッズ祭り」を振り返ろう	(1)

## 6 本時の活動について

### (1) 目標

分担したグループに分かれて出店の内容について相談し、必要な物を製作することができる。

### (2) 展開

学 習 内 容 と 活 動	支 援 ( ) 留 意 点 ( ・ )	評 価
1 前時の活動を思い出す。 2 めあてをつかむ。 グループごとにわく Waku ファイヤーキッズま つりのじゅんぴをしよう。	前時までの計画や仕事の分担をカード に注目させて確認する。 本時の活動に見通しをもたせ、課題を つかませる。	・本時の活動で何をすれば いいのかわかる。(発 表・観察)
3 グループ毎にわく Waku ファイヤーキッズ祭りの準 備をする。 ・山車引き ・くじ引き ・魚釣り ・ゲーム ・射的 ・ボーリング ・的当て ・花屋 ・食べ物屋 ・アクセサリー など	活動に取り組むきっかけをつかむこと ができない子どもに対しては、友達と 一緒に活動することを促したり、教師 と一緒に取り組み始めたりする。 全体や個人の作業を称賛することで、 活動の広がりを持たせる。 ・希望した材料や置き場所を確認する。 カッター、マジック、テープ類、 用紙類、輪ゴム など ・出店の内容にあった出し物の作り方 について調べることができるように本な どを用意しておく。	・自分の思いをもって製作 活動に没頭している。 (観察・つぶやき) ・作品を工夫したり、友達 と相談したりしながら 活動している。 (観察・つぶやき)
4 活動を振り返る。	活動に没頭していた子どもの様子や友 達とのやりとりを紹介する。 次時の活動につながるような活動をし ていた子どもに発表をさせる。 進行状況を確認し、次時に何をすれば いいのか考えさせる。	・次時の活動では何をすれ ばいいのかわかる。 (発表・観察)

### (3) 評価規準

評価規準	十分満足 (A)	概ね満足 (B)	努力を要する子ども への支援 (C)
材料を用意したり製作 方法を調べたりして、 友達と協力して準備し ようとしている。	材料の使い方を工夫し、 製作方法に見通しをも って、友達と協力して準 備することができる。	材料の用意や製作方法 を調べ、友達と協力し て準備することができ る。	何をどのように作りたい のか問いながら教師 と調べ、協力して作っ ているグループなど を見ながら活動させる。
準備物や作品を工夫し て作ったり、発表の仕 方や遊び方を工夫した りすることができる。	工夫することで、どのよ うに作品がよくなるの かなど自分の思いをも ちながら作っている。	自分なりにいろいろな 工夫をしながら作品を 作っている。	さらに何を付けたりす れば自分の作りたいも のに近づくのかを問い ながら活動させる。

## 5 単元構想表

次 時	1		2			3	
	1	2・3	4・5	6(本時)・7・8・9	10・11・12	13・14	15
活動 目標	地域のイベントについて話し合うことができる。	わく Waku ファイヤーキッズ祭りに招待する人に見せたいものややってあげたいことについて話し合うことができる。	わく Waku ファイヤーキッズ祭りについて計画を立て、仕事の分担をすることができる。	分担したグループに分かれて出店の内容について相談し、必要な物を製作することができる。	作った物を使って、必要な練習をしたり、招待状の準備をしたりして、わく Waku ファイヤーキッズ祭りの準備をすることができる。	楽しいわく Waku ファイヤーキッズ祭りをを行うことができる。	わく Waku ファイヤーキッズ祭りを振り返る。
め あ て	自分たちが住んでいる町のイベントについて紹介しよう。	わく Waku ファイヤーキッズ祭りに招待する人に見せたいものややってあげたいことを話し合おう。	わく Waku ファイヤーキッズ祭りを行うための準備をしよう。	グループ毎にわく Waku ファイヤーキッズ祭りの準備をしよう。	わく Waku ファイヤーキッズ祭りの進め方を練習しよう。	1年生と一緒にわく Waku ファイヤーキッズ祭りを楽しもう。	わく Waku ファイヤーキッズ祭りを振り返ろう。
活 動 の 流 れ	1 町のイベントについて知っていることを発表する。 2 めあてをつかむ。 3 地域のイベントについて振り返る。	1 めあてをつかむ。 2 わく Waku ファイヤーキッズ祭りの内容について話し合う。 3 活動を振り返る。	1 めあてをつかむ。 2 仕事の分担を話し合う。 3 活動を振り返る。	1 前時の活動を思い出す。 2 めあてをつかむ。 3 わく Waku ファイヤーキッズ祭りの準備をする。 4 活動を振り返る。	1 めあてをつかむ。 2 準備した物を使って、出店の練習をする。 3 招待状の準備をする。 4 活動を振り返る。	1 めあてをつかむ。 2 「わく Waku ファイヤーキッズ祭り」を行う。 3 活動を振り返る。	1 めあてをつかむ。 2 わく Waku ファイヤーキッズ祭りを振り返る。
評 価 の 観 点	関町のイベントで見たみこしや出店の様子を知らせようとしている。 関イベントに参加して体験したことや感じたことを紹介しようとしている。	関わく Waku ファイヤーキッズ祭りで見せたいものややってあげたいことについて進んで話し合おうとしている。 思地域のイベントにかかわった経験を生かして、わく Waku ファイヤーキッズ祭りでやってみたいことを考えることができる。	関楽しいわく Waku ファイヤーキッズ祭りをするために、進んで計画を立てようとしている。 思楽しいわく Waku ファイヤーキッズ祭りをするために、内容や準備することを考えることができる。 気仕事に分担を決め、友だちと協力しながら工夫することの大切さに気付いている。	関材料を用意したり製作方法を調べたりして、友達と協力して準備をしようとしている。 思準備物や作品を工夫して作ったり、発表の仕方や遊び方を工夫したりすることができる。	思招待状を使い、招待することができる。 気わく Waku ファイヤーキッズ祭りの進め方や遊び方を話し合いながら、友達のよさに気付いている。	関招待した人を遊びやし物に誘ったり、自ら楽しんだりしようとしている。 思招待した人や友達が楽しめるように、わく Waku ファイヤーキッズ祭りの進め方や出し物の演じ方、遊び方等を工夫することができる。 気わく Waku ファイヤーキッズ祭りの進め方や楽しさ、協力して取り組み、友達のよさや自分の成長に気付いている。	思自分たちが計画したこととわく Waku ファイヤーキッズ祭りでやれたことを比べながら振り返ることができる。 気自分の思いを実現させるためには、様々な人の支えが必要であることに気付いている。